

平成28年6月29日

各位

会社名 株式会社フード・プラネット  
代表者名 代表取締役社長 アンドリュー・ネイサン  
(コード：7853 東証第二部)  
問合せ先 経営企画室長 綿貫 涼子  
(TEL. 03-4577-8701)

**子会社の異動の確定（株式会社レッド・プラネット・ジャパン社の臨時株主総会における株式譲渡の承認）  
及び**

**当社株式の「合併等による実質的存続性の喪失」に係る猶予期間入りについて**

本日開催の株式会社レッド・プラネット・ジャパン（以下、「RPJ社」といいます。）臨時株主総会の特別決議であります議案「子会社の株式譲渡契約承認の件」が可決されました。これに伴い、平成28年6月9日付「株式の取得（子会社化）に関する株式譲渡基本合意書締結及び資本業務提携の解消に関するお知らせ」及び平成28年6月14日付、「（開示事項の経過）株式の取得（子会社化）に関する株式譲渡基本合意書締結及び資本業務提携の解消に関するお知らせ」で当社が開示いたしました株式の取得（子会社化）に関して、効力発生日であります平成28年6月30日付で株式譲渡が成立するとともに、RPJ社が運営しているフード事業に関わる子会社群を当社が譲り受けることが確定し、子会社の異動が生じることになります。

これを受け、当社は、平成28年6月9日付「合併等による実質的存続性の喪失」に係る猶予期間入りの見込みに関するお知らせ」で開示のとおり、平成28年6月30日から「合併等による実質的存続性の喪失」に係る猶予期間に入ることとなりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 異動する子会社の概要、株式譲渡契約等に関する件について

このたび異動する子会社の概要、株式取得の方法、取得代金及び支払条件、取得価額、取得株式数、等に関しましては、平成28年6月9日付「株式の取得（子会社化）に関する株式譲渡基本合意書締結及び資本業務提携の解消に関するお知らせ」及び平成28年6月14日付、「（開示事項の経過）株式の取得（子会社化）に関する株式譲渡基本合意書締結及び資本業務提携の解消に関するお知らせ」をご参照ください。

また子会社の異動、異動する子会社が運営するブランド、今後の事業戦略については3ページ以降に添付する補足資料「フード・プラネット事業の拡大と推進に向けて」をご参照ください。

2. 「合併等による実質的存続性の喪失」について

当社は、平成28年6月9日付「株式の取得（子会社化）に関する株式譲渡基本合意書締結及び資本業務提携の解消に関するお知らせ」の開示に伴い、東京証券取引所より、株式会社レッド・プラネット・フーズの株式を取得し、子会社化した場合、有価証券上場規程第601条第1項第9号aに定める「上場会社が実質的な存続会社でないと取引所が認める場合」に該当するため、「合併等による実質的存続性の喪失」に係る猶予期間に入る見込みである旨公表されておりました。

本日、RPJ社の臨時株主総会において「子会社の株式譲渡契約承認の件」が可決されたことを受け、当社は、平成28年6月30日付で株式会社レッド・プラネット・フーズの株式を取得し、子会社化するため、平成28年6月30日から「合併等による実質的存続性の喪失」に係る猶予期間に入ることとなります。

猶予期間の最終日（平成31年9月30日）までに、当社株式が新規上場審査基準に準じた基準に適合しているか

どうかの審査を申請し、かかる基準に適合すると認められた場合には、猶予期間が解除される一方で、猶予期間内に当該基準に適合しない場合には、上場廃止となるおそれがあります。

当社は、当該基準に適合すると認められるための審査を受け、当該基準に適合すると認められるよう、万全の体制で準備を行ってまいります。

### 3. 業績予想について

なお、今後の業績見通しにつきましては、精査中ではありますが、不確定要素が多く、内容等が確定いたしましたら、四半期決算短信等において業績の状況等を開示する予定であります。

以上



**フード事業の拡大と推進に向けて**

**(株)フード・プラネット** (証券コード 7853)

2016年6月29日

# フード・プラネットが取得した飲食ブランド



MAGNOLIA  
BAKERY  
— NEW YORK CITY —

マグノリアベーカリー  
アメリカ発クラシックベーカリー



1991  
KyōChon

キョチョン  
韓国発フライドチキン専門店



キューズ・ダイニング  
北海道にテーマレストランを17店舗展開



ナイトロジーニー  
オーストラリア発 液体窒素で作る  
アイスクリーム店



# フード・プラネット、成長戦略を実現するために 新株予約権による資金調達を実施



ジャパン・  
オポチュニティーズ・  
マスター・ファンド  
(JOMF)



**今回の資金調達**  
総額28億円の  
新株予約権発行



アジア太平洋地域  
でのフード事業拡大

②既存市場へ  
の店舗展開

ハワイ、日本、韓国などの  
既存市場

③展開権を持つ  
アジア市場への進出

広東、マカオ、香港、台湾、  
シンガポール

④M&Aによる  
事業取得

高知名度、フランチャイズ可能な  
飲食ブランド

## フード事業の取得

①効率的な店舗  
モデルの確立

デリバリーやオンライン発注  
等含めた収益最大化



## 取得するフード事業の強み

- ✓ 特徴ある複数のブランドで、成長市場であるアジア太平洋地域展開権を保有
- ✓ 優良パートナー(韓国・現代グループ等)との協業

# 新株予約権の発行により約28億円の資金を調達



Japan Opportunities Master Fund  
ジャパン・オポチュニティーズ・マスター・ファンド

投資



新株予約権の発行



株式会社フード・プラネット

新株予約権の数 140,373,800個 (140,373,800株)  
行使価額 20円  
資金調達予定額 2,858,010,568円 (約28.5億円)  
行使期間 2016年7月14日～2017年7月13日

※当初行使の確約:

本新株予約権割当日に(払込完了後)総数の10%の行使を確約予定  
約2.8億円の資金を発行当初に調達可能

# アジア太平洋地域へのブランド展開が強み マグノリアベーカリー、キョチョン、ナイトロジーニーの 展開権を各国で保有



フード・プラネット本社

日本



- マグノリアベーカリー1店舗を運営(東京・表参道)
- キョチョン1店舗を運営(東京・六本木)
- Q's Diningがテーマレストラン17店舗を運営(北海道)
- マグノリアベーカリーの展開権保有
- キョチョンの展開権保有
- ナイトロジーニーの展開権保有

韓国



- Hyundai Green FoodとJVを設立し、マグノリアベーカリー2店舗を運営(Hyundai百貨店、Co-exモール)
- マグノリアベーカリーの展開権保有

広東



- キョチョンの展開権保有

台湾



- キョチョンの展開権保有

香港



マカオ



- マグノリアベーカリーの展開権保有
- キョチョンの展開権保有

ハワイ



- マグノリアベーカリー1店舗を運営(アラモアナSC)
- ナイトロジーニー1店舗を運営(アラモアナSC)
- マグノリアベーカリーの展開権保有
- ナイトロジーニーの展開権保有

シンガポール



- マグノリアベーカリーの展開権保有
- キョチョンの展開権保有



# マグノリアベーカリー

MAGNOLIA  
BAKERY  
— NEW YORK CITY —



## 概要

- アメリカのクラシックベーカリー専門店
- 米国ニューヨークにて1990年代にオープン
- 米国発の連続テレビドラマ「セックス・アンド・ザ・シティ」、  
「ゴシップガール」、映画「プラダを着た悪魔」などに登場
- ニューヨークを代表するブランドとして世界中の若者に大人気
- 各国の強力なフランチャイズパートナーと提携
- 多くのロイヤル・カスタマーを獲得
- キュートなブランド関連商品を展開



## 店舗



## 概要

- 韓国発のフライドチキン専門店
- 1991年にオープン以来、25年以上続く人気ブランド
- フランチャイズ店舗数は韓国で1,000店以上。中国、米国、インドネシア、フィリピン、タイなどにも出店。
- 世界中で平均120,000人／日を超える顧客数
- 飽きの来ないキョチヨン特製4種のタレと特別な二度揚げ製法により、サクサク且つジューシーなフライドチキンを提供
- アルコール飲料にぴったりの定番おつまみ飲料メーカーとのブランディング

## 店舗



# キューズ・ダイニング

(マルチブランドのテーマレストラン)



## 概要

- 2001年から、札幌市内を中心に、様々なコンセプトでテーマレストランを展開
- 2016年現在、総店舗数は17店
- 北海道の豊かな自然がはぐくむ食材を用いて、居酒屋・和食店・焼肉店・カフェ等、幅広い業態に挑戦
- 専門店に負けない特色を持ちつつ、ファーストフード店のようにオペレーションが簡易で原価の安定しやすい多店舗展開に向くブランドを多数保有



## 店舗

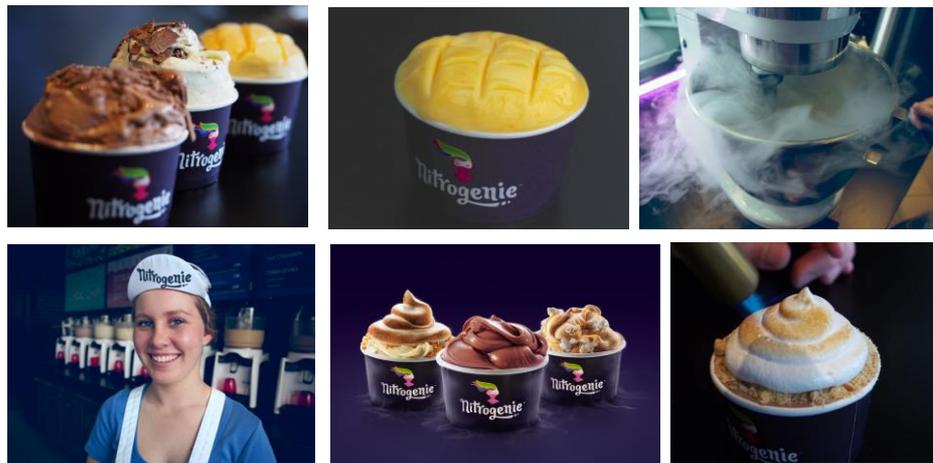


# ナイトロジーニー



## 概要

- 新しいトレンドを生むブランド、液体窒素で作るアイスクリーム店
- 72種類もの味とフレーバーから毎週7種を店舗が選び、回転。新たなメニューを楽しみに、リピータが続出。
- 他では得られないユニークな体験を提供。顧客の目の前で液体窒素をアイスの容器に注入。アップビートなBGMとモダンなインテリア、フレンドリーなスタッフ。
- オーストラリアに3店舗、インドネシア、タイ、米国、英国にそれぞれ1店舗、フード・プラネットがハワイにて1店舗出店。



## 店舗

